

平成24年度(2012年度)

学生募集要項

高崎健康福祉大学大学院

薬学研究科

薬学専攻博士課程



薬学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60 TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118
URL <http://www.takasaki-u.ac.jp> E-mail pharm@takasaki-u.ac.jp

目次

1. 高崎健康福祉大学大学院の概要	1
2. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）	1
3. 募集人員	1
4. 出願資格	1
5. 入試日程	1
6. 試験会場	2
7. 指導を希望する教員との事前面談	2
8. 出願手続	2
9. 出願書類等	2
10. 選抜方法	3
11. 合格発表	3
12. 入学手続	3
13. 学費等納付金	4
14. 学位記に付記される専攻分野の名称	4
15. その他	4
16. 薬学研究科の教育研究分野	5

1. 高崎健康福祉大学大学院薬学研究科の概要

高崎健康福祉大学薬学部は、臨床に関わる実践的な能力を培うことを目的とした6年制薬学部と、6年制薬学部を基礎とする4年制薬学専攻博士課程の薬学研究科から構成されています。



2. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

薬学研究科薬学専攻では、臨床現場の薬剤師と科学者という2つの着眼点を持ち優れた研究能力を身につけて高い問題解決能力を持つ薬剤師、チーム医療のメンバーとして時にはリーダーとして医療体制を提案でき後継薬剤師は元より他のコメディカル専門職の未来のあるべき姿を考えられる医療人、の両方の特徴を併せ持つ人材の養成に取り組みます。

従って、本専攻では、薬学に関する研究者、薬剤師の指導者あるいは高度専門職を目指す意欲と能力のある学生の入学を期待します。

3. 募集人員

研究科	専攻・課程	入学定員
薬学研究科	薬学専攻博士課程	3名

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学（6年制薬学課程）を卒業した者または平成24年3月までに卒業見込みの者
- ② 薬剤師として3年以上の実務経験のある者

5. 入試日程

第一回 募集	願書受付期間	平成23年11月28日（月）～12月2日（金）（必着）
	試験日	平成23年12月8日（木）
	合格発表	平成23年12月14日（水）
	入学手続期間	平成23年12月14日（水）～12月24日（土）（必着）
第二回 募集 (注)	願書受付期間	平成24年2月27日（月）～3月2日（金）（必着）
	試験日	平成24年3月8日（木）
	合格発表	平成24年3月14日（水）
	入学手続期間	平成24年3月15日（木）～3月23日（金）（必着）

(注) 第二回募集は、第一回募集で定員に満たない場合にのみ実施します。第二回募集の有無については、平成24年2月中旬以降、高崎健康福祉大学薬学部事務室にお問い合わせください。

6. 試験会場

高崎健康福祉大学薬学部

7. 指導を希望する教員との事前面談

本大学院の具体的な研究内容等を知っていただくため、出願前に、指導を希望する教員と面談を行っていただきます。第一回目募集においては平成23年11月28日（月）までに、第二回目募集においては平成24年2月27日（月）までに、高崎健康福祉大学薬学部事務室に連絡して、面談日時の予約をして下さい。

8. 出願手続

出願書類を一括取り揃え、入学検定料を納入の上、本学所定の封筒を使用して、高崎健康福祉大学薬学部事務室まで提出して下さい。

9. 出願書類等

必要書類等	作成方法
入学志願票 受験票 写真票 受験票返信用封筒	<ul style="list-style-type: none">● 本学所定の用紙を使用し、必要事項をみれなく記入してください。● 入学志願票および写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影の正面、上半身、無帽の写真（縦4 cm×横3 cm、裏面には氏名、志望専攻を記入）を貼付してください。● 受験票返信用封筒には、本人の住所（受験票送付先）、氏名、郵便番号を記入し、350円切手を貼付してください。● 記入にあたっては、黒のボールペンまたは黒インクの万年筆を使用し、楷書で明確に記入してください。
卒業（見込）証明書	出身大学長または学部長が作成し、厳封したもの。
成績証明書	出身大学長または学部長が作成し、厳封したもの。
卒業研究の要旨 又は志望理由書	卒業研究を行っていない場合は、志望理由を記入してください。 様式自由で A4判1枚、ワープロ使用可、氏名・志望専攻を必ず記入してください。いずれの場合も1,200字程度とします。
健康診断書	本学所定の用紙に医師が診断証明したもので、出願3ヶ月以内に作成されたもの。なお、出身大学において、平成23年度の定期健康診断を受診した者は、当該健康診断書（健康診断の結果を出身大学が証明したもの）提出により、本学所定の用紙による健康診断書の提出に代えることができます。
実務経験証明書	薬剤師として3年以上の実務経験がある者が出願する場合には、本学所定の用紙を使用し、必要事項をみれなく記入してください。
入学検定料	<ul style="list-style-type: none">● 入学検定料30,000円は必ず電信扱いで銀行振込し、振込依頼書、振込金領収書のそれぞれに取扱銀行収納印が押印されているのを確認してください。また、振込金領収書（大学送付用）を所定の用紙に添付して提出してください。● 入学検定料は、銀行振込以外は受けません。● 一旦振り込まれた入学検定料は返還しません。

○個人情報の取り扱いについて

入学出願書類等で本学が知り得た個人に関する情報及び入学試験結果等については秘密を厳守し、本学での入試関連業務、及びこれらに付随する事項の範囲内でのみ使用します。

10. 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の審査および小論文、面接の結果を総合して行います。

専攻・課程	時間	試験科目	試験科目の内容
薬学専攻 博士課程	9:00 ~ 9:50	受付・諸注意	
	10:00 ~ 11:00	小論文	出題された課題について総字数1,200字で記述する
	11:30 ~	面接（口述試験を含む）	

11. 合格発表

発表年月日 第一回募集 平成23年12月14日（水）

第二回募集 平成24年 3月14日（水）

- (1) 発表は合否にかかわらず受験者宛郵送により通知します。掲示による発表は行いません。
- (2) 合格者には「合格通知書」「入学手続に関する書類」を本人宛に郵送します。電話、その他による合否の問い合わせには、一切応じません。

12. 入学手続

- (1) 合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な書類を送付します。
- (2) 入学手続は、入学手続期限内に手続に必要な「学費等納付金」を銀行振込により納付するとともに、「入学手続書類」を提出することによって完了します。

区分	入学手続期間
第一回募集	平成23年12月14日（水）～12月24日（土）（必着）
第二回募集	平成24年 3月15日（木）～ 3月23日（金）（必着）

13. 学費等納付金

区 分	1年次			2年次以降
	入学手続金	後期	合計	
入 学 金	180,000円	—	180,000円	—
授 業 料	350,000円	350,000円	700,000円	700,000円
実 験 実 習 費	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
施 設 設 備 費	50,000円	50,000円	100,000円	100,000円
保 険 料	4,730円	—	4,730円	—
合 計	684,730円	500,000円	1,184,730円	1,000,000円

14. 学位記に付記される専攻分野の名称

高崎健康福祉大学大学院薬学研究科下記課程を修了した者は、下記の学位が授与されることとなります。その際、学位記に付記される専門分野の名称は、次のとおりです。

薬学専攻博士課程「博士（薬学）」

15. その他

出願について不明な点は、高崎健康福祉大学薬学部事務室に照会してください。

高崎健康福祉大学 薬学部事務室
〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60
TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118

(地図)

■高崎駅からのアクセス



大学まではバスで20分。高崎駅東口・紫寮・大学・短期大学を循環する専用バスも利用可能です。

- JR高崎駅東口から、スクールバスを通学時に運行。
- JR高崎駅東口から、市内循環バス「ぐるりん」が定期的に運行されています。
- JR高崎駅西口から、群馬中央バス「伊勢崎行」で約20分（「寄居」バス停下車・徒歩5分）です。

16. 薬学研究科薬学専攻博士課程の教育研究分野

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
代謝生理学	宇井理生 教授	生命情報伝達のメカニズム
薬物毒性学	阿部すみ子 教授	医薬品副作用への対処に向けた変動要因と発現機序の解明
医薬品開発学	岩崎源司 教授	医薬品の創製、開発、プロセス研究
生体制御学	大根田絹子 教授	アレルギー・自己免疫疾患における恒常性維持機構の関連性
臨床薬物動態学	荻原琢男 教授 森本かおり 講師	臨床薬物動態学の基盤及び実践的応用の研究 薬物トランスポーターと関連調節因子の応答性と個人差の研究
糖鎖生物学	佐内 豊 教授	糖鎖の発現制御と機能の解析
医薬品情報学	関塚雅之 講師 岡田裕子 講師	薬品管理、抗がん薬の安全取扱、リスクマネジメント 免疫抑制剤の効果・副作用の個人差の研究
細胞生理化学	八田慎一 教授 今井 純 准教授	細胞生理機能に基づく新しい分子標的治療手法の発見 癌細胞の抗原提示機序を利用した特異的薬物療法の研究
薬剤評価学	増田寛樹 教授	妊娠・授乳時の服薬指導とその薬剤疫学的基盤の整備
薬効解析学	松岡 功 教授 蓬田伸一 准教授	臨床薬理学的作用と細胞内情報伝達系の関連 GPCR 多量体化の病態形成への影響
治療学	村上 孝 教授	がん病態形成因子の抽出と治療への応用
病態生理学	吉田 真 教授 本間成佳 助教	循環器系病態生理学的知見に基づく新規薬物療法の研究 生理活性物質の細胞内情報伝達機構の解析